

区長からのメッセージ

2年連続で保育の「待機児童ゼロ」を実現しました

昨年に引き続き、杉並区では保育の「待機児童ゼロ」を実現しました。この間の区民の皆さまをはじめ、区議会、関係者の方々のご理解、ご支援に深く感謝申し上げます。

私が、22年に区長に就任する前、本区では、少子化の影響で早晚、保育需要は下火になるとして、認可保育所の整備を凍結していました。職員にも、入所枠に限られる中で、入れる人と入れない人を指数で選別することが保育課の仕事であるという「指数行政」の意識が根付いていました。このため私は、就任後間もなく、認可保育所を核とした施設整備を進める方針に転換するとともに、職員の意識改革を図ったのです。

しかし、その後も保育需要は増え続け、28年4月の待機児童数は前年より100名近く増加し、このまま手をこまねていけば29年4月には560名を超える待機児童が発生しかねない事態に直面しました。私は、直ちに自らを本部長とする緊急対策本部を設置するとともに、「すぎなみ保育緊急事態宣言」を発し、公園を含む区有施設を保育施設に転用するというかつてない手法を用いて民間事業者による認可保育所19所の整備等を迅速に行い、その結果、29年4月の待機児童数を29名にまで抑えることができました。そして29年度以降も着実に認可保育所を整備するとともに、認可保育所入所未定者に対するきめ細やかなマッチングを行ったことにより、昨年4月について「待機児童ゼロ」を実現し、さらに手綱を緩めず取り組みを進め、本年4月においてもゼロを継続することができたのです。

この間の公園等を転用した保育施設の整備に際しては、地域住民や関

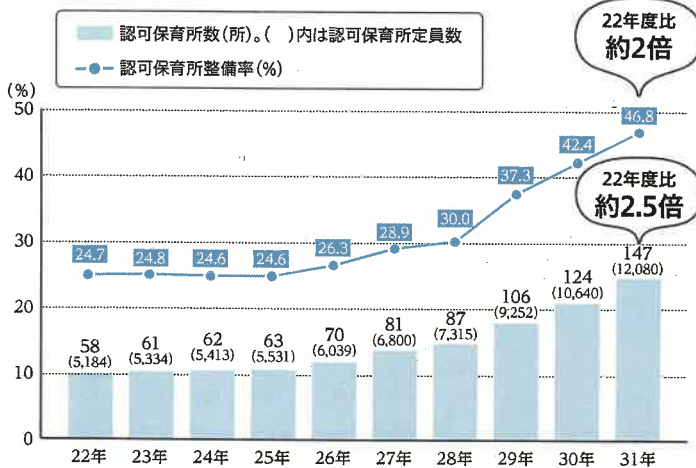
係者のご理解を得るため、丁寧な説明に努めるとともに、可能な限りご要望に応じてきました。28年度に久我山東原公園の一部(約840㎡)を認可保育所に転用するに当たっては、暫定的な代替え広場を確保するほか、約300㎡の用地を取得してポールフェンス付きの遊び場113番を速やかに整備しました。その際、お約束した恒久的な代替え公園については、このたび、久我山東原公園の隣地に保育園の移転改築用地として約740㎡の用地を確保し、富士見丘北公園等と合わせて2000㎡以上の広い公園を整備する見通しを立てることができました。これにより、従前以上に子育て環境を向上させることが可能となります。

また、保育施設の整備とともに、車の両輪として保育の質の維持・向上にも力を注いできました。今年度は、区独自に各保育施設を巡回訪問・指導するための人員体制を強化したほか、来年4月に区立保育園7所を中核園に指定し、地域の保育施設間の情報連携等を充実するための検討・準備を進めます。

私は、これらの保育環境の充実・強化は、子育て中の方が当たり前のように育児と仕事を両立できる地域社会を築くための礎と考えています。そうした地域社会の成功モデルを杉並で実現することができるよう、引き続き区政の先頭に立って取り組んでまいります。



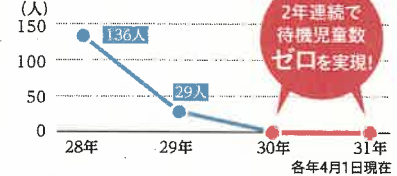
認可保育所の箇所数・定員数・整備率*



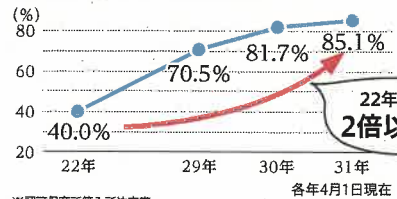
*認可保育所整備率=認可保育所定員数÷就学前人口

各年4月1日現在

待機児童数の推移



認可保育所等入所決定率*



*認可保育所等入所決定率=認可保育所等入所者数÷(入所申込者数+申し込み取り下げ+内定後辞退数)

31年度以降の主な取り組み

認可保育所を核とした施設整備の推進

○希望する全ての子どもが認可保育所に入所できるよう、引き続き計画的な整備を進めます。

保育の質の確保に向けた取り組みの推進

- 区内保育施設に対する巡回訪問・助言について、区立保育園の園長経験者等による人員体制を充実・強化して取り組みます。
- 来年4月に区立保育園7所を中核園に指定し、地域の保育施設間の連携・情報共有の促進等を図るための準備を進めます。

障害児保育の拡充

- 本庁保育課に看護師を配置して、障害児に対する入所相談・支援の充実を図ります。
- 障害児指定園について、現在の区立保育園9所から、来年4月には地域バランスを考慮して15所に拡充します。

久我山東原公園の代替えとなる公園整備のイメージ図

